

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 0176400323 | | |
| 法人名 | 株式会社 萌福祉サービス | | |
| 事業所名 | グループホームはぼ～れ1号館 | | |
| 所在地 | 北海道苫前郡羽幌町栄町111番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年2月15日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月7日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kan=true&JigyosyoCd=0176400323-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 |
| 訪問調査日 | 平成25年2月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々の心の声に手を差し伸べる介護をモットーに豊かな生活をお過ごし頂ける様職員と利用者様が相互に喜びを感じあえる場を構築。グループホームはぼ～れは、平屋造りで1フロアの中にグループホーム2ユニットとデイサービスがあり、デイサービス利用者様や地域の方々との交流の場として機能しております。利点は協力医療機関である道立病院が隣にあり、当グループの看護師との協力的体制が図られ医療面で安心出来る様努めています。今年度特に力を入れている点は、パートナーシップ制度です。この制度の一番の目的は「利用者様おひとりお一人にしっかりと目を向ける」という事です。利用者様やご家族の叶えたい思いや要望に耳を傾け、その叶えたい思いや要望を理解し、どうしたら叶えられるだろうと考える姿勢を職員一人ひとりが持ち、これにより利用様が豊かな生活を送る事が出来るよう取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<日々のその人らしい暮らしへの支援>
 本人と家族の絆を大切に、本人から家族宛てに年賀状を出したり、本人の誕生日には家族からのお祝いの手紙を送付するよう働きかけて関係継続への支援をしている。また、一人ひとりの暮らし方への要望や意見に耳を傾け畑で野菜の栽培や収穫を行ったり、食事の準備や後片付け等の役割や食事が楽しみなものになるように食事やデザートバイキングを採り入れ工夫を凝らしている。

<地域の人々との交流>
 併設のデイサービス利用の馴染みの人達と利用者同士の交流や夏祭りを開催して、オロロン太鼓や踊り等のボランティアの受け入れ、地元老人会や幼稚園児との交流を深めるなど地域の人々との交流促進に努めている。また、グループホームはぼ～れ通信で認知症コラムを掲載し、認知症についての理解や広報の活動に取り組んでいる。

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | |
|--|--|----|---|
| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 自社の経営理念、介護理念、事業所独自の年間目標を掲示すると共に、朝礼時や会議時に唱和し、職員は常に意識を持ち実践に繋がっています。 | 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作りあげ、その達成の為に具体的な年間目標を掲げ、共有し、実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の催事など積極的に参加し、事業所の催事にも地域の方々に参加して頂き交流を深めています。老人会やお話会、幼稚園、太鼓等慰問もあり交流を持っています。 | 併設のデイサービス利用の馴染みの人達と利用者同士の交流や夏祭りを開催して、オロロン太鼓や踊り等のボランティアの受け入れ、地元老人会や幼稚園児との交流を深めるなど地域の人々との交流促進に努めている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の催事時の参加、デイサービス利用者様、ご家族様、他施設、老人会等の交流を持ち、情報交流等で認知症の人に対する理解で親交を深めています。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では、現状の報告や事業所での取り組み等を報告し、意見交換を行いそこでの意見をサービス向上に繋げる取り組みを行っています。 | 運営推進会議を年6回を目安開催し、国内で起きた火災事故の報告や緊急時の避難誘導方法など具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 町との連携は不可欠であり、町の担当者の方々と協力関係を持って頂いております。 | 町担当者との連携の重要性を認識し、日常業務を通じて情報交換を行い、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「私達は身体拘束ゼロを目指します。」を掲げ、個々のリスクマネジメントを行い、身体拘束のないケアに取り組んでおります。 | 指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を内部研修会やリスクマネジメントを通じて正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 社全体の勉強会や事業所独自のミーティングで取り上げ、見過ごされる事がないよう職員が正しく認識して虐待行為のないケアを実践しております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 社全体の勉強会で学ぶ機会を持ち、また利用者様の必要が生じた場合や、ご家族様より相談に応じて必要な支援を行なっております。 | | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に書面にて説明しています。その際は、必ず利用者様やご家族様の疑問点やご意見等を伺い、十分な説明を行いご理解、納得を得た上で契約を交わしています。 | | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者様やご家族様との日々の連携を密にし、意見要望等を遠慮なく話して頂けるにしています。また、相談窓口を契約時に説明し、周知徹底しています。 | 家族等が訪問し易いように環境整備に努め、来訪時に意見や要望等話し合う機会を設けている。また、家族・来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように市町村等の相談窓口の掲示をしている。 | | |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月上長者会議を実施し共に全体会議を行い、職員の意見や提案を運営向上に反映させています。 | 法人独自の事業所毎の評価の実施や運営向上委員会で、職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、運営に反映するよう努めている。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ミーティング等で議題として取り上げ、解決策をとったりと各自が向上心を持って働けるようブリセプター制を取っています。 | | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月のミーティングで研修項目を決め、上長者が講師となり内部研修を行っています。外部研修や外部から講師を招いて研修を行い、スタッフのスキルアップの向上に繋げています。 | | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修等で同業者との交流を持ち、意見交換などを行っております。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|---------------------------|------|--|---|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初期段階の面談場面で、不安な事や求めている事等傾聴し主訴を受け止め信頼関係を構築しています。 | | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 相談場面で、ご家族様の不安な事やご意見を受け止め関係作りを構築しています。 | | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人にとって、まず必要とする支援の見極めをご家族様とご相談し他のサービス利用も含め十分に検討している。 | | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 介護現場ととらず常に生活を共にする立場で関係を築いています。職員は支えのみで、利用者様同士の思いやりや協同の関係が持ててます。 | | | |
| 19 | | 本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様とご本人様との絆が遠くならない様、毎月お便りでの報告や電話でお声を届けたり、誕生日にはご家族様と一緒に祝いをして頂ける様にしております。 | | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方、友人、老人会の方々が面会に来られております。また、地域の催事にも出来る限り参加しております。 | 家族との絆を大切にして、本人から家族宛てに年賀状を出したり、本人の誕生日には家族からのお祝いの手紙を送付する支援や併設しているデイサービスに通う地域の人達との交流で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様個々の性格を把握し、人間関係に合わせホール内での席の位置の工夫やその場の雰囲気に合わせて職員が仲介で孤立する事がなく、利用者様同士支え合いがあります。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居時、受け入れ先の相談援助や支援を行っています。退居後においても相談等の支援を行っています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で、ご本人様のメッセージを察知し、そのメッセージを職員間で共有し支援方針に入れ実施しています。 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、役割ごとや地域の行事参加支援など本人本位に検討している。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時、ご本人様、ご家族関係者様より情報を頂いています。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の関わりの中で、心の声に手を差し伸べる潜在的な所も感じ取り、全体像の把握に努めています。 | | |
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人様やご家族様には、日頃の関わりの中で想いや意見を聞き反映させるようにしています。アセスメントを含めスタッフ全員でモニタリング、カンファレンスを行っています。 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族の意見や要望、カンファレンスやモニタリングを通じて意見を反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者様別のファイルを作成し、食事、水分、排泄、バイタルチェック、身体状況及び生活の様子、言葉やメッセージ等記録し、日々評価し介護計画に反映しています。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人やご家族様からの相談や要望等、常時受け付け意向に応えるようにしています。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの慰問や地域の催しに作品出展で参加し、利用者様の生きがいや楽しみに繋がるよう支援しています。 | | |
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご家族様の希望を優先した中で連携を密に、協力医療機関とは看護師が連絡を取り、利用者様が適切な医療を受けられる様対応しています。 | 看護師の配置や協力医療機関との連携で適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 職員は日々の健康管理や医療面の大切さを理解し、職場内での看護師と情報を共有したり相談したりしています。また、協力医療機関の看護師との連携を密にしています。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時の情報提供や入院中の経過や状況把握を職員又は看護師が出向き、入居者様が早期退院に運ばれる様、病院関係者との連携は密にしています。 | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 早い段階から医師やご家族様等の話し合いの場を持ち、事業所で出来る事と出来ない事等の見極めを行い、今後の変化に備えての検討支援に取り組んでいます。 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署の協力を得て心配蘇生法の研修を行っています。看護師を中心に勉強会を行い実践力を身に付けています。 | | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防の協力を得て年2回通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施し、施設の定期点検も実施しています。火災の延焼を防ぐ為にスプリンクラーを設置しております。また、地震、水害時の対応をマニュアル化しており、マニュアルに添って職員が行動出来るように年1回自主訓練を行っております。 | 昼夜を問わず利用者が避難できるように消防署の協力を得て、年2回避難訓練及び通報訓練、消火訓練の実施や自主避難訓練を行っている。また、スプリンクラーや通報装置等の設備の定期点検も実施している。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 介護理念や私たちのモットー、宣言を朝礼時唱和し、言葉拘束や身体拘束のゼロを目指し取り組んでおります。 | 身体拘束廃止や言語拘束廃止の研修会を実施して、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけがないように職員間に周知している。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の関わりの中で、常に伺い言葉掛けで利用者様が思いや希望を表現出来やすいよう対応しています。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な施設の流れはありますが、制約はありません。今日一日を大切にお一人おひとりのペースに合わせた支援を優先しています。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 服などの身だしなみは利用者様本人にお伺いし、自己決定して頂ける様支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員が利用者様と一緒に食卓を囲み、家庭的な雰囲気での食の楽しみを作っております。下膳や食器拭き等個々の力を活かし活動に繋がっています。 | 事業所毎に盛り付けや見た目の工夫で食事が楽しいものになるよう取り組んでいると共に食事の準備や後片付け、食器拭きなど役割ごとの支援をしている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの病歴を把握し、食事や水分、摂取量、栄養面での管理を一日通して確保しています。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアについて自ら行っている利用者様もおりますが、声掛けや誘導、介助が必要な利用者様もいますので、本人の力に応じた対応を行っております。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 極力トイレで排泄を行って頂いておりますが、移動移乗が困難な利用者様については、夜間のみオムツ使用の利用者様がおります。 | 一人ひとりの排泄パターンを排泄チェック表で把握し、トイレで排泄できるように自立に向けた支援をしている。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 基本的には、自然排便出来る様、食材の工夫や水分摂取に気を配り体を動かす体操等取り入れております。下剤や浣腸に関しては医師の指示の下対応しています。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 利用者様の希望やタイミングに合わせ気持ちのいい入浴を掲げ、入浴剤を使用したり、利用者様一人ひとりに適した湯温など、利用者様が少しでも満足して頂ける様支援しております。 | 併設のデイサービスの大浴場も利用できるように工夫し、入浴を楽しむことができるように支援している。また、一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 利用者様の生活スタイルや状況に合わせて、個々に対応しております。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員全員が服薬に携わり、個々の用法、副作用、薬の名前等把握しています。看護師が薬の仕分けをし職員が服薬チェック表で確認後、利用者様に服用して頂いておりますが、確実に服用して頂く為に最後まで確認を行っております。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常生活の中で利用者様が出来る事(食器拭きや下膳、味見、洗濯物たたみ等)を役割として行っており、利用者様自ら積極的にお手伝いされております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 利用者様の個別希望に応じて誕生会をご自宅や外食等行っております。暖かい時期は極力外気に触れる機会を設けております。 | 一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物、畑作業や収穫で戸外に多く出かけられるように支援している。また、夏祭り参加や野外での焼肉、近隣へのドライブ等で普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、出かけられるように支援している。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | その都度買い物等は、お金を払う行為を行って頂いております。自ら自販機で飲み物を購入したりしています。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 個々に掛かって来た電話や本人より依頼を受けた際の対応支援を行っております。携帯電話を使用している利用者様もおります。 | | |
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 天井も高く広々とした空間の中に、和室の静養室やランマからの日の光、ベランダからは日本海に沈む夕陽が館内に差します。玄関やリビングの壁に四季を感じて頂ける様演出しています。 | リビングや廊下の壁には、季節毎の飾りつけや行事参加の写真が掲示され、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮している。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングのテーブル席やソファ、和室の静養室などで独りになれたり、気の合う利用者様同士で会話出来るスペースを確保しております。 | | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に使い慣れた物や使用された物を持って来て頂いております。仏壇や電気椅子(マッサージ機)を持ち込まれている利用者様もおられます。 | 居室には、使い慣れた家具や寝具、家族の写真等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者様が出来る事を役割として行って頂いたり、季節、月、日を感じて頂ける関わりを持って頂いたり、自分で出来る事は自分で行って頂く様にしています。職員は安易に手を貸さず目配り、見守りを行い、必要に応じて支援を行っております。 | | |

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 0176400323 | | |
| 法人名 | 株式会社 萌福祉サービス | | |
| 事業所名 | グループホームはぼ～れ2号館 | | |
| 所在地 | 北海道苫前郡羽幌町栄町111番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年2月15日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月7日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0176400323-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々の心の声に手を差し伸べる介護をモットーに豊かな生活をお過ごし頂ける様職員と利用者様が相互に喜びを感じあえる場を構築。グループホームはぼ～れは、平屋造りで1フロアの中にグループホーム2ユニットとデイサービスがあり、デイサービス利用者様や地域の方々との交流の場として機能しております。利点は協力医療機関である道立病院が隣にあり、当グループの看護師との協力体制が図られ医療面で安心出来る様努めています。今年度特に力を入れている点は、パートナーシップ制度です。この制度の一番の目的は「利用者様おひとりお一人にしっかりと目を向ける」という事です。利用者様やご家族の叶えたい思いや要望に耳を傾け、その叶えたい思いや要望を理解し、どうしたら叶えられるだろうと考える姿勢を職員一人ひとりが持ち、これにより利用様が豊かな生活を送る事が出来るよう取り組んでおります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 |
| 訪問調査日 | 平成25年2月28日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | |
|--------------------------|--|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 自社の経営理念、介護理念、事業所独自の年間目標を掲示すると共に、朝礼時や会議時に唱和し、職員は常に意識を持ち実践に繋がっています。 | | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の催事など積極的に参加し、事業所の催事にも地域の方々に参加して頂き交流を深めています。老人会やお話会、幼稚園、太鼓等慰問もあり交流を持っています。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の催事時の参加、デイサービス利用者様、ご家族様、他施設、老人会等の交流を持ち、情報交流等で認知症の人に対する理解で親交を深めています。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では、現状の報告や事業所での取り組み等を報告し、意見交換を行いそこでの意見をサービス向上に繋げる取り組みを行っています。 | | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 町との連携は不可欠であり、町の担当者の方々と協力関係を持って頂いております。 | | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「私達は身体拘束ゼロを目指します。」を掲げ、個々のリスクマネジメントを行い、身体拘束のないケアに取り組んでおります。 | | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 社全体の勉強会や事業所独自のミーティングで取り上げ、見過ごされる事がないよう職員が正しく認識して虐待行為のないケアを実践しております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 社全体の勉強会で学ぶ機会を持ち、また利用者様の必要が生じた場合や、ご家族様より相談に応じて必要な支援を行っております。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に書面にて説明しています。その際は、必ず利用者様やご家族様の疑問点やご意見を伺い、十分な説明を行いご理解、納得を得た上で契約を交わしています。 | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者様やご家族様との日々の連携を密にし、意見要望等を遠慮なく話して頂けるにしています。また、相談窓口を契約時に説明し、周知徹底しています。 | | |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月上長者会議を実施し共に全体会議を行い、職員の意見や提案を運営向上に反映させています。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ミーティング等で議題として取り上げ、解決策をとったりと各自が向上心を持って働けるようブリセプター制を取っています。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月のミーティングで研修項目を決め、上長者が講師となり内部研修を行っています。外部研修や外部から講師を招いて研修を行い、スタッフのスキルアップの向上に繋げています。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修等で同業者との交流を持ち、意見交換などを行っております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初期段階の面談場面で、不安な事や求めている事等傾聴し主訴を受け止め信頼関係を構築しています。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 相談場面で、ご家族様の不安な事やご意見を受け止め関係作りを構築しています。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人にとって、まず必要とする支援の見極めをご家族様とご相談し他のサービス利用も含め十分に検討している。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 介護現場ととらず常に生活を共にする立場で関係を築いています。職員は支えのみで、利用者様同士の思いやりや協同の関係が持てます。 | | |
| 19 | | 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様とご本人様との絆が遠くならない様、毎月お便りでの報告や電話でお声を届けたり、誕生日にはご家族様と一緒に祝いをして頂ける様にしております。 | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方、友人、老人会の方々が面会にいられております。また、地域の催事にも出来る限り参加しております。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様個々の性格を把握し、人間関係に合わせホール内での席の位置の工夫やその場の雰囲気に合わせて職員が仲介で孤立する事がなく、利用者様同士支え合いがあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居時、受け入れ先の相談援助や支援を行っています。退居後においても相談等の支援を行なっています。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で、ご本人様のメッセージを察知し、そのメッセージを職員間で共有し支援方針に入れ実施しています。 | | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時、ご本人様、ご家族関係者様より情報を頂いています。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の関わりの中で、心の声に手を差し伸べる潜在的な所も感じ取り、全体像の把握に努めています。 | | |
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人様やご家族様には、日頃の関わりの中で想いや意見を聞き反映させるようにしています。アセスメントを含めスタッフ全員でモニタリング、カンファレンスを行っています。 | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者様別のファイルを作成し、食事、水分、排泄、バイタルチェック、身体状況及び生活の様子、言葉やメッセージ等記録し、日々評価し介護計画に反映しています。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人やご家族様からの相談や要望等、常時受け付け意向に応えるようにしています。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの慰問や地域の催しに作品出展で参加し、利用者様の生きがいや楽しみに繋がるよう支援しています。 | | |
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご家族様の希望を優先した中で連携を密に、協力医療機関とは看護師が連絡を取り、利用者様が適切な医療を受けられる様対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 職員は日々の健康管理や医療面の大切さを理解し、職場内での看護師と情報を共有したり相談したりしています。また、協力医療機関の看護師との連携を密にしています。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時の情報提供や入院中の経過や状況把握を職員又は看護師が出向き、入居者様が早期退院に運ばれる様、病院関係者との連携は密にしています。 | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 早い段階から医師やご家族様等の話し合いの場を持ち、事業所で出来る事と出来ない事等の見極めを行い、今後の変化に備えての検討支援に取り組んでいます。 | | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署の協力を得て心配蘇生法の研修を行っています。看護師を中心に勉強会を行い実践力を身に付けています。 | | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防の協力を得て年2回通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施し、施設の定期点検も実施しています。火災の延焼を防ぐ為にスプリンクラーを設置しております。また、地震、水害時の対応をマニュアル化しており、マニュアルに添って職員が行動出来るように年1回自主訓練を行っております。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 介護理念や私たちのモットー、宣言を朝礼時唱和し、言葉拘束や身体拘束のゼロを目指し取り組んでおります。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の関わりの中で、常に伺い言葉掛けで利用者様が思いや希望を表現出来やすいよう対応しています。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な施設の流れはありますが、制約はありません。今日一日を大切にお一人おひとりのペースに合わせた支援を優先しています。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 服などの身だしなみは利用者様本人にお伺いし、自己決定して頂ける様支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員が利用者様と一緒にの食卓を囲み、家庭的な雰囲気で作ってあります。下膳や食器拭き等個々の力を活かし活動に繋げています。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの病歴を把握し、食事や水分、摂取量、栄養面での管理を一日通して確保しています。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアについて自ら行っている利用者様もおりますが、声掛けや誘導、介助が必要な利用者様もいますので、本人の力に応じた対応を行っております。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 極力トイレで排泄を行って頂いておりますが、移動移乗が困難な利用者様については、夜間のみオムツ使用の利用者様がおります。 | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 基本的には、自然排便出来る様、食材の工夫や水分摂取に気を配り体を動かす体操等取り入れております。下剤や浣腸に関しては医師の指示の下対応しています。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 利用者様の希望やタイミングに合わせ気持ちの良い入浴を掲げ、入浴剤を使用したり、利用者様一人ひとりに適した湯温など、利用者様が少しでも満足して頂ける様支援しております。 | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 利用者様の生活スタイルや状況に合わせて、個々に対応しております。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員全員が服薬に携わり、個々の用法、副作用、薬の名前等把握しています。看護師が薬の仕分けをし職員が服薬チェック表で確認後、利用者様に服用して頂いておりますが、確実に服用して頂く為に最後まで確認を行っております。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常生活の中で利用者様が行える事(食器拭きや下膳、味見、洗濯物たたみ等)を役割として行っており、利用者様自ら積極的にお手伝いされております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 利用者様の個別希望に応じて誕生会をご自宅や外食等行っております。暖かい時期は極力外気に触れる機会を設けております。 | | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | その都度買い物等は、お金を払う行為を行って頂いております。自ら自販機で飲み物を購入したりしています。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 個々に掛かって来た電話や本人より依頼を受けた際の対応支援を行っております。携帯電話を使用している利用者様もおります。 | | |
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 天井も高く広々とした空間の中に、和室の静養室やランマからの日の光、ベランダからは日本海に沈む夕陽が館内に差します。玄関やリビングの壁に四季を感じて頂ける様演出しています。 | | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングのテーブル席やソファ、和室の静養室などで独りになれたり、気の合う利用者様同士で会話出来るスペースを確保しております。 | | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に使い慣れた物や使用された物を持って来て頂いております。仏壇や電気椅子(マッサージ機)を持ち込まれている利用者様もおられます。 | | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者様が出来る事を役割として行って頂いたり、季節、月、日を感じて頂ける関わりを持ったり、自分で出来る事は自分で行って頂く様にしています。職員は安易に手を貸さず目配り、見守りを行い、必要に応じて支援を行っております。 | | |

目標達成計画

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|---|--|------------|
| 1 | 18 | 地元の人々との関わりを持つようにはしておりますが、サークル活動やボランティア活動しているグループが減っており、利用者様との交流も減って来ているのが現状なので、地域の方々との交流を保てる様にしていく必要があります。 | 定期的に慰問や訪問して下さっている方々の他に新たに来て頂けるボランティアやサークル、老人会などに声を掛けて探し利用者様と少しでも地域の方々との交流が増えるようにする。 | 町や運営推進会議よりボランティアやサークル、老人会等の情報を集め、交流を持って頂けるように交渉する。 | 6か月 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。